

2027年6月期
株主優待額の増額および
業績予想の修正について
～ 株主還元方針との整合性確保 ～

2026年9月14日

株式会社アスア



証券コード：246A 東証グロース・名証メイン

株主還元方針の変遷

配当・優待制度を段階的に拡充し、株主還元を強化

株主還元強化の歩み

配当性向10%

▼
累進配当

▼
配当＋株主優待

▼
株主優待制度を業績連動

2024年9月30日

配当性向10%を基準

業績や財政状態を
踏まえた配当政策

2025年8月8日

累進配当を導入

配当性向30%を目安とし
減配せず維持・増配

2026年2月・5月

配当＋優待制度へ拡充

2月：株主優待制度導入
5月：株主優待額を
「固定2,000万円」から
「2,000万円を下限とする
業績連動方式」へ変更

株主還元をさらに強化するため、株主優待制度を業績連動方式へ変更

見直しの背景

業績連動型還元方針と還元予想との整合性を再検証

2026年6月期の株主還元
株主優待額 2,000万円
1株当たり配当金 7.0円

2027年6月期の
株主還元を検討

2026年5月14日

2026年8月10日

論点

株主優待方針を変更

2027年6月期の還元予想

整合性を再検証

株主優待額2,000万円を
下限に業績連動方式へ変更

株主優待・配当を
前期同額で公表

業績連動方針と還元予想
の説明にギャップが発生

株主優待費用計上前の利益比較（参考）

（単位：百万円）

利益項目	2026年6月期 実績	2027年6月期 予想	増減額	増減率
営業利益	155	183	+28	+18.1%
経常利益	156	184	+27	+17.7%
当期純利益	106	121	+15	+14.9%

※各利益に株主優待額（前期20百万円、今期予想20百万円）を加算。株主優待費用計上前の事業見通しは8月10日公表時から変更なし。

不整合の是正

株主還元方針の趣旨に沿うため、株主還元内容と業績予想を見直し

還元方針と公表内容の整合性を再確認した結果、見直しが必要と判断しました。

方針

検証

対応

業績連動型の株主還元方針

還元予想との整合性を再検証

還元内容・業績予想を修正

2026年5月
株主優待額を「2,000万円固定」から
「2,000万円を下限とする 業績連動方式」
へ変更

配当・優待予想は
前期同額として公表

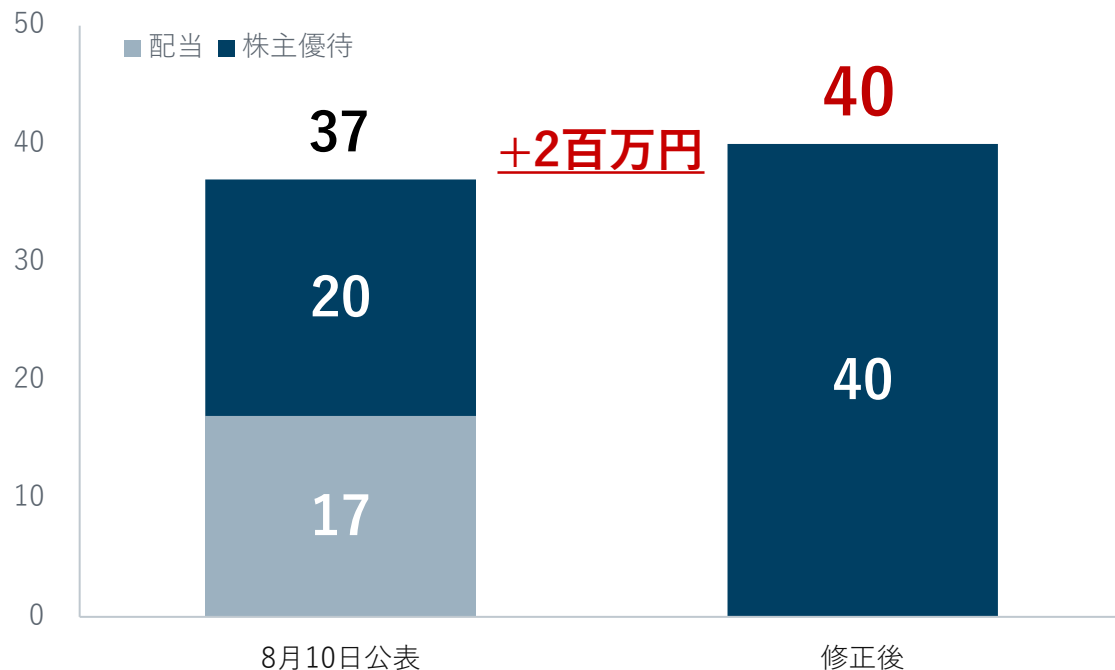
方針との整合性を重視し
株主還元内容と業績予想を
同時に修正

株主還元方針との整合性を確保するため、株主還元内容および業績予想を見直し

株主還元内容の変更

株主優待額を40百万円へ増額し、株主還元を拡充

還元方法の変更と株主優待額の拡充（百万円）



株主還元方針

2026年12月末 | 対象株主1人当たり最低還元額

6,583円 → 13,167円

年間株主優待額

20百万円 → 40百万円

各基準日の株主優待額

20百万円 × 年2回

1株当たり配当予想

7円 → 0円

当面は株主優待による還元を優先し、総合的な株主還元の充実図ってまいります。

※ 最低還元額は対象株主1,519名（2026年6月末時点の200株以上株主）で算出。対象者数が減少した場合、1人当たりの株主優待還元額は増加します。

業績予想の修正

株主優待額の増額を反映し、業績予想を修正

業績予想の修正

(単位：百万円)	8月10日公表	修正額	修正後
売上高	1,475	—	1,475
営業利益	163	△20	143
経常利益	164	△20	144
当期純利益	101	△20	81

株主優待原資を年間4,000万円へ増額した影響を反映

株主優待費用反映前では増益を見込む

	前期実績	今期予想
営業利益	155 →	183 (+18.1%)
経常利益	156 →	184 (+17.7%)
当期純利益	106 →	121 (+14.9%)

業績予想修正の主な要因

株主優待増額

20,000千円 → 40,000千円 △20,000千円

配当減少

7円 → 0円 + 17,964千円

実質影響額 + 2,035千円

財務健全性

年間株主優待額40,000千円は財務健全性を損なわない水準

- ・純資産の3.8%
- ・現預金の6.9%

株主優待額の増額を反映して業績予想を修正するものの、財務への影響は限定的です。